

## 平成26年度 租税教育実践事例（第6学年）

登米市立豊里小学校  
教諭 千葉 恵理子

- 1 単元名 社会科「わたしたちの生活と政治」～わたしたちの願いを実現する政治～  
—— 豊かな暮らしと政治・税金とのかかわりを考える ——

### 2 指導にあたって

#### (1) 単元について

本単元の主な学習内容は、「国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること、日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利および義務など、国家や国民生活の基本を定めていることを調査したり資料を活用したりして調べ、我が国の政治の働きを具体的に考えるようにすること」である。また、本単元は「わたしたちの願いを実現する政治」と「わたしたちの暮らしと日本国憲法」の二つで構成されている。本実践の「わたしたちの願いを実現する政治」では、地域の公共施設の建設を取り上げ、その事業が国民生活の安定と向上を図ろうとする地方公共団体や国の政治の働きによるものであることを理解させるとともに、政治に関心をもたせることをねらいとしている。市民の願いがどのように反映されているかを具体的にとらえさせながら、完成までの経過を議会、選挙、税金の働きとを関連させて考えさせていくものである。

現在、世界一の長寿国である我が国は、将来世界でも最も少子高齢化の進んだ国になるだろうとも予想されている。このような情勢の中で将来を担っていく子供たちにとって人間らしい豊かな生活を保障するため財源をどのように確保し、どのように利用していくことが大切かを考えさせることは非常に大切なことであるといえる。

#### (2) 児童の実態

児童は、日常生活において税金を特に意識したり関心をもって考えたりする経験をほとんどもっていないのが実態である。また、新聞やテレビの報道などから、「税が高い」「税金の無駄遣い」などの情報を知識として何となくもっている児童もおり、「税」に対する子供たちの素直なイメージは、決してプラスの方向には働いていないことも分かる。最も身近な「消費税」ですら、「取られている」と感じている児童が多いことも子供らしい素直な気持ちの表れであろうと思われる。

このことから、本単元の活動を通して、租税の意義や役割を正しく理解させ、社会の一員としての自覚を育て、主権者意識をもたせることは、次の小単元「わたしたちの暮らしと日本国憲法」にもつながる点からも、大変有意義なことと思われる。

#### (3) 指導の着眼

児童の実態を踏まえて、以下のような点に留意して指導に当たりたい。

- ① 「身近な公共施設は誰がお金を出して建てたのか？」ということからスタートし、まちの中で、国や県、市町村のお金でつくられているものを探し調べる活動の中から、自分たちも税の恩恵を受けていることに気付かせていく。それらが税金でまかなわれていることをしっかり理解することで、わたしたちの安定した豊かな暮らしには、税金の果たす役割が大きいことを実感させたい。
- ② ゲストティーチャーとして、登米法人会の方々に来ていただき、専門的な立場からの話を聞く「租税教室」を実施することによって、児童の興味関心を高め、税金についての理解を一層深めていく。
- ③ 学習のまとめとして、「豊かな未来を実現するために消費税は10%増税か？8%現状維持か？」という討論を行う。「増税」が新聞などで話題になっている中、豊かな未来を創造していくためには税金はどうあるべきかという問題について、6年生なりに真剣に考え、話し合うことにより、単元のまとめとする。さらに次時の学習内容「主権者としての国民の役割の自覚」にもつなげていきたい。併せて、租税標語づくりにも取り組ませる。

### 3 単元の目標

- 生涯学習センターの建設を取り上げて、その事業が国民生活の安定と向上を図ろうとする地方公共団体や国の政治の働きによるものであることを理解し、政治に関心をもつ。
- 生涯学習センターや市議会などの見学や調査を行ったり、収集した資料を活用したりして政治の働きを調べ、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考える。

### 4 単元の学習計画（10時間扱い）

時間	主な学習活動と内容	指導上の留意点
1	① 生涯学習センターについて調べよう ・身近にある公共施設について調べ、公共施設がどのような役割をもっているか話し合う。	○ 学び方コーナーを参考に、調べる計画を立て、主体的に取材ができるようにする。
2	② 生涯学習センターができるまでを調べる ・生涯学習センターは、住民の願いのもとに政治の働きによってつくられたことを調べ、まとめる。	○ 願いの吹き出しやアンケートのグラフを丁寧に読み取らせ、政治の働きに気付かせる。
3	③ 市議会のしくみや働きを調べる ・センターができるまでの市議会の働きをまとめ、税金の働きへの関心をもつ。	○ センターの建設に果たした議会の役割をもとに、議会の働きについて話し合わせる。
4	④ 税金の働きを調べる ・公共施設の建設費用と税金の関係や、税金の働きについて調べ、まとめる。	○ 税金の働きをまとめさせ、租税教室への関心をもたせる。
5	⑤ 租税教室（税金について知ろう） ・税金の役割や必要性を知り、税金に関する興味・関心、理解を深める。	○ 税金がわたしたちの生活にとって必要であることに気付かせ、税金の働きについてとらえさせる。
6	⑥ 討論会を開こう ・豊かな未来を実現するために消費税は10%増税か？8%現状維持か？パネルディスカッションをする。	○ 豊かな未来を創造していくためには、税はどうあるべきか、自分なりの意見をもって話し合わせる。
7	⑦ 租税標語を作ろう ・租税教室を振り返り、学んだことを基に、租税標語を作る。	○ 租税教室で使用した資料や感想カードを確認させながら、税金に対する思いを標語に表すことができるようにする。
8	⑧ 国会の働き ・国会が国の政治に果たす役割について調べ、市議会の働きと比べる。	○ 市議会の働きと比較させ、表に整理させる。
9	⑨ 選挙の大切さについて考えよう ・政治の働きと選挙の関連をまとめ、図に表現するとともに、選挙の大切さについて話し合う。	○ 政治の働きと結び付けて、その大切さを考えさせる。投票率の低さも考えさせる。
10	⑩ もう一度“公共”と政治について考えよう ・学習を振り返り、公共とはどのようなことなのかを考え、公共をよりよくしていくための考えを発表する。	○ 公共について話し合った後に、ノートに自分の意見をまとめさせ、それを発表させる。

5 実践の記録

(1) 実践1「税金について知ろう」～租税教室～

段階	学 習 活 動 ・ 学 習 の 様 子
つ か む	<p>1 本時の活動内容の確認とゲストティーチャーの紹介をする。</p> <div data-bbox="284 353 1425 454" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>今日は、ゲストティーチャーとして登米法人会の大畑さん、西條さんに来ていただきました。お話をよく聞いて、「税金」について考えましょう。</p> </div> <p>2 学習課題を知る。</p> <div data-bbox="497 495 1046 562" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◎「税金」の働きについて考えよう</p> </div>
調	<p>3 税金の種類について考える。</p> <div data-bbox="311 622 718 667" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>みんなの知っている税金は？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「消費税」については、すぐに出てきたが、それ以外についてはなかなか出てこなかった。</li> <li>○「消費税」以外にもいろいろな税金がある。</li> <li>○「入湯税」という温泉に入るときにかかる税金もあることにびっくりする児童。</li> </ul> <div data-bbox="290 703 647 938"> </div> <div data-bbox="667 831 991 875" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>税金は必要だろうか？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○今の気持ちはどっち？の質問に「税金はいらない、払いたくない」に挙手した児童は11名。「払うべき、税金は必要」は、15名。「分からない」は2名。</li> <li>○「入湯税」という温泉に入る時にかかる税金にも驚いている様子。</li> </ul> <p>4 「マリンとヤマト不思議な日曜日」を視聴する。</p> <div data-bbox="311 1122 826 1167" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>税金がなくなったらどうなるのかな？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事故を起こしても、救急車を呼ぶと料金がかかる。</li> <li>○火事になったら、有料になって大変。</li> <li>○信号機が動かず、交通渋滞になる。</li> </ul> <div data-bbox="999 1039 1410 1357"> </div>
べ る	<p>5 税金の内容や使い道について考える。</p> <div data-bbox="311 1373 963 1417" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>税金がなかったら、小学校の月謝はいくらかな？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○①3万円、②5万円、③7万円の三択形式のクイズが出された。児童のほとんどが5万円に挙手。正解は7万円。「え〜！」の驚きの声。</li> </ul> <div data-bbox="311 1541 1155 1585" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>小・中・高の12年間で一人当たりどのくらい教育費がかかるか？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1058万円かかることを知り、もし税金がなかったら、各家庭にとって大変な負担になることが分かった。</li> </ul> <div data-bbox="317 1664 675 1910"> </div> <div data-bbox="963 1664 1262 1709" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>税金の使い道は？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校の中にあるほとんどのものは税金で買ったものである。(机、椅子、教科書、理科の実験用具など)</li> <li>○警察、消防、ゴミの収集、除雪などにも税金が使われている。</li> </ul> <div data-bbox="284 1910 908 1955" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>税金の使い道は、だれがどうやって決めるの？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国民の代表である議員が国会で話し合い、予算を決定する。</li> <li>○国と同じように住民(県民や市町村民)の代表者が議会でも予算を決める。</li> </ul>

国民の三大義務を知っているかな？

- 「教育を受けさせる義務」「勤労の義務」「納税の義務」がある。
- 税金はすべての国民が健康で豊かな生活を送ることができるようにするためにみんなが出し合う会費である。

ま  
と  
め  
る

6 1億円のレプリカの重さを体感し、お金の価値について考える。

持ってみての感想は？

- 予想していたよりもうんと重い。
- 税金は大切なものと思った。
- 税金のことが詳しく分かり、大人になったら税金を必ず納めようと思った。



【児童の感想文より～租税教室を終えて～】

・税金は何に使われているのか、あまり詳しく分からなかったけど、わたしたちが使っている教科書や公園の整備、まちの人たちが利用している施設の建設などに使われていることが分かりました。また、ビデオやコンピュータを使つての説明も分かりやすかったです。税金がないと、国は成り立っていないので、税金は国を支えるとても大切なお金だということが分かりました。

・税金がなかったら、世の中がうまく成り立たないことが分かりました。信号機や道路などは、みんなのものだと当たり前になっていましたが、全部税金でみんなのものとしていることを初めて知りました。こうして、学校に来ることができるのも、税金があるおかげです。

(2) 実践2 「討論会を開こう～豊かな未来を実現するために消費税は10%増税か？8%現状維持か？～」

【消費税10%増税賛成！】11名

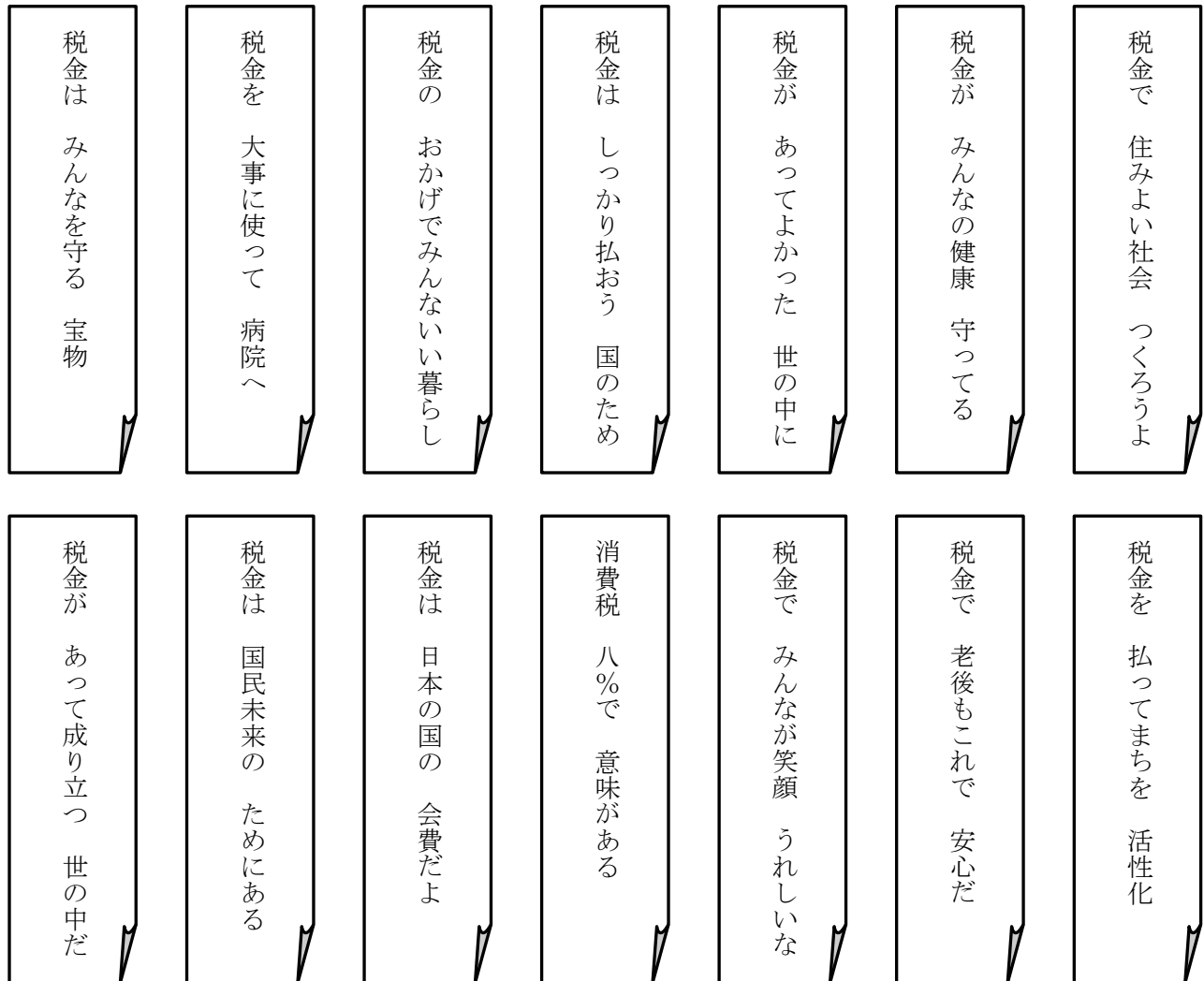


- ・消費税が上がるのは少し困るけど、国の税金がなくなったらもっと困ると思うので、値上げたほうがいい。
- ・税金が底をつく大変。それに結局損はしないと思う。
- ・税金が足りなくなって、福祉関係や高齢者の方たちの医療費などが大変になる。普段からみんなが払う消費税を10%払うほうが安定すると思う。
- ・国の税金が足りなくなって、学校にも大金を払わなくてはならなくなったら大変です。
- ・今の日本は高齢化社会。デイサービスや老人ホームなどに行く人が多くなる。でも、その利用代が高いので入れない人もたくさんいる。増税すれば、多くの人が福祉施設を利用できるようになる。

- ・10%なんて高すぎ。10%にすると買い物に行く人が減ってしまう。不況になってしまう。
- ・道路工事やダム建設などの無駄遣いをしなければならなくなる。国会議員の給料も高すぎる。
- ・国で勝手に値上げされるのは困る。無駄なことに税金が使われないよう節約する。
- ・値上げするのは簡単だし、確かに豊かなとは思いますが、2%値上げで困る人はいる。働いていない若い人は、大人としてしっかり働かなくちゃいけないと思う。



### (3) 実践3「租税標語づくり」～児童がつくった標語から～



#### 6 まとめ

- 登米法人会の方々から租税教育教材を提供いただき、租税教室を開催できたことは、子供たちの税の学習に対する興味・関心を高める上で大変効果的だった。子供たちは、専門的な知識や情報の提供で、「初めて分かった」「もっと知りたい」「確かめたい、調べたい」という意欲をもち、その意欲を継続させながら主体的に取り組ませることができた。
- 「消費税10%増税賛成か？消費税8%現状維持か？」の討論会では、全員がしっかりと自分の考えをもつことができた。「増税」が新聞などで話題になっている中、豊かな未来を創造していくために、税金はこのままでいいのかという問題について、互いに意見を聞きながら自分の考えを深めることができた。討論を通して、子供たちは税金は自分たちの未来にとって非常に大切なもの、真剣に考えていかななくてはならない問題という認識をはっきりもつことができた。
- 租税標語作りの活動には、どの児童も楽しく意欲的に取り組むことができた。作品は子供らしい素直な視点から、税の必要性や納税の義務を訴えたもの、税の正しい使い方を促したものなどが多かった。どの作品からも子供たち一人一人が、税を身近なもの、自分たちの暮らしに必要不可欠なものとして、とらえていることがうかがえた。
- 租税教育は、租税の意義や役割を子供たちに正しく理解させ、社会の一員としての自覚を育てることを目的とし、1968年から学習指導要領に記載された。しかし、社会科の通常の授業では、税に触れる部分のごくわずかしかなければならないというのが実状である。今回、租税教育実践の機会をいただき、活動に取り組む中で「税金」を核として、自分たちの暮らしと政治のかかわりをとらえさせていくことがとても効果的であることを実感することができた。税を自分自身の問題としてとらえる姿勢は今後の学習内容「主権者としての国民の役割の自覚」にもつながっていくものである。

